

第一問

一 ア しい イ 花鳥 ウ 不慮 エ ちんじ オ 極致

二 ① 下 ② 上 ③ 主 ④ 述

三 自分の意志で判断したりしない（14字）

四 対象として意識していない（12字）

五 西洋人にとって「自然」は、日本とは全く逆に合法則性・規則性をもつものとして理解されているから。

六 日本人にとって自然は、人為を超えた存在で、思いがけないことが起こる不安を抱かせるものとしてあるから。

七 日本の庭園は、単なる自然の再現ではなく、鋭敏な感受性を鑑賞者に期待しつつ、自分の心が感じ取った自然の真意を狭い空間において象徴的に表したものであるということ。

第二問

- 一 d
- 二 ア 徐々に
イ 驚いて
- 三 (1) 清廉潔白
(2) 私欲もなく心が清らかで、不正を働いたりはしないこと。
- 四 藤原実資は賢人でありたいと願って清廉潔白な振る舞いをしてきたものの、世間の人からは賢人だと全く認められていなかったということ。
- 五 天災のような突然の出火を消そうとしても、結局はさらに重大な災難となるだけだろうと考えたから。(四八字)
- 六 どういう理由で、むやみに家一軒を惜しむことに価値があるのか、いや、その価値もない。
- 七 賢明な人の行動を見た場合には、各自の身分なりに、それと同様に振る舞うように心がけ、また愚かな人の行動を見た場合には、それと同様なことをしていないか、各自の身分に応じて自分を省みよと言っている。

八 c

第三問

- 一 病気は治療することはできない。命は十日ともたないだろう。
- 二 やくせきのよくおさむるところにあらざるなり。
- 三 喜びが極まって発狂した病人を、「病気は治らぬ」と言っただけで死を恐れさせることで、その心を鎮静させて治すという方法。